



東北医科薬科大学の 地域医療教育の取組について

医学部長 小澤 浩司

東北医科薬科大学医学部の使命

ミッション: 東北地方の復旧・復興の核となり、地域医療を恒久的に支える医師の育成

1. 地域医療に対する使命感を持った学生の入学
2. 地域医療と災害医療に対応できる総合診療医を養成する特色ある教育
3. 卒業生の地域定着を促すための方策と医師派遣
4. 本学薬学部の実績を生かした教育、疾患診断・薬剤開発研究
5. 被災地域の住民に対する健康管理や放射線被ばくに関する情報提供・健康相談

3つの方針(ポリシー)

【学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

本学医学部の教育課程を履修して、所定の単位を修得した学生に学位(学士(医学))を授与します。

1. 医療人としての自覚と医師として総合的な臨床能力を身につけていること。
2. 地域医療、災害医療に貢献する強い意志を持っていること。

【入学者選抜の方針(アドミッション・ポリシー)】

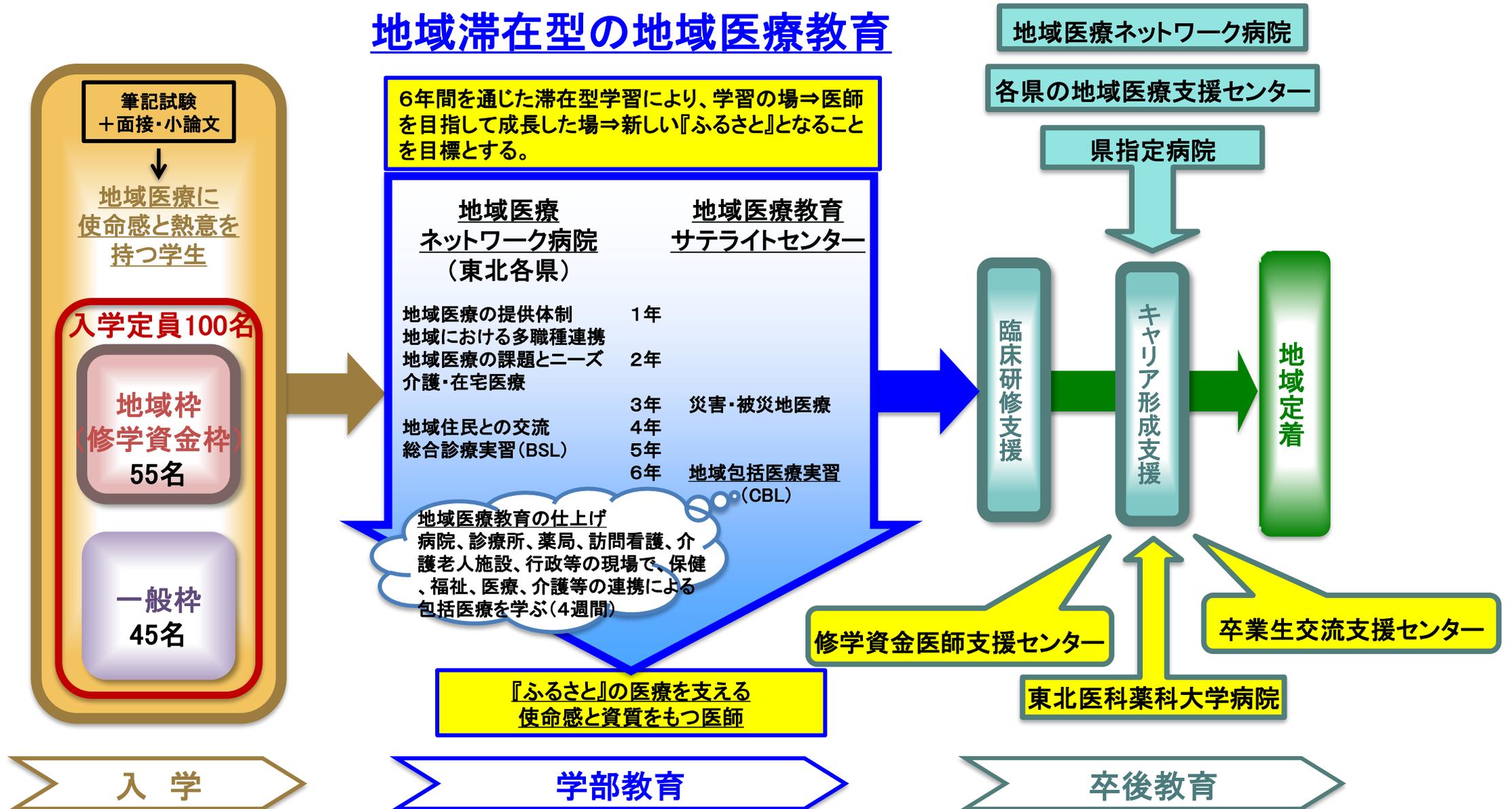
1. 本学医学部の使命に共感し、将来、東北地方の地域医療・災害医療に従事して、地域住民の健康を支える使命感に燃えた学生を求めています。
2. 高度で専門的な知識と技能を兼ね備えながら、病める人とその家族の思いに共感できる強い意志と柔らかな心を持った医師を志す学生を求めています。
3. 高等学校等で理科、数学、英語を十分に習得し、論理的に考える姿勢と着実な学習習慣を身につけている学生を求めています。

【教育課程の編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

1. 心豊かな人間性を備え、生命の尊厳について深い理解を持つ医師を育むために、人文科学から臨床医学へ連続性ある倫理教育を実施する。
2. 病める人を生活者として全人的に捉える広い視野を育むために、講義と地域での体験学習を効果的に連動させる。
3. 地域医療に対する理解を深め使命感を醸成するために、同じ地域を繰り返し訪問し、多職種の医療人および地域の住民や行政と連携しながら学ぶ、地域滞在型教育を行う。
4. 総合診療医を目指すために、地域医療の理解から総合診療力の養成へと段階的に学習する実践的な教育課程とする。
5. 救急・災害医療(放射線災害を含む)に対応できる医師を養成するために、特色ある体験学習や演習科目を編成する。
6. 問題発見能力、問題解決能力、自己研鑽能力を育むために、問題基盤型学習や双方向教育、グループ討論・発表などの主体的・能動的学習を取り入れる。
7. 効果的な修得のために、関連科目間の横断的および縦断的統合を図った教育課程とする。
8. アウトカム基盤型教育と適切な学習評価を実施する。
9. 多様な参加型臨床実習など医学教育の国際化に対応した教育を実施する。

東北地方への地域定着

地域滞在型の地域医療教育



独自の方策

1. 本学独自の修学資金制度
2. 教養課程における(東北)地域教育
3. 同じ地域を繰り返し訪問する体験学習、地域臨床実習

本学修学資金制度の概略

枠名	配属先	人数	原資	配属先決定権	勤務義務	支給方式
一般枠 (45名)		45名				
修学資金枠 (55名)	仙台市以外 の東北6県	30名	宮城県 3,000万円	宮城県	臨床研修	循環型
	A				修了後10年 (臨床研修含まず)	雇用病院から 10年間で回収
	東北5県	5名 (各県1名)	本学 3,000万円	本学*		
B	東北5県	20名	各県 + 本学	各県	各県の制度に従う	消費型

* 受け入れが可能な団体・病院と本学が協議して決定

宮城A方式(30名)

< 専門研修期間が3年の診療科 >

専門医取得

卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
義務年数	義務年限外		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
雇用病院の負担(300万円/人・年)	不要				必要									
	臨床研修	専門研修期間				通常義務履行期間				地域貢献期間				
宮城A医師はどちらかのプログラムを選択			東北大学PG (基幹病院1-2年、残りを 仙台市以外東北6県連携病院)				東北大学関連病院(仙台市以外東北6県) 東北大学に入局				仙台市以外東北6県の 中小規模病院・診療所			
			東北医科薬科大学PG (基幹病院1-2年、残りを 仙台市以外東北6県連携病院)				仙台市以外東北6県 本学が配置病院を検討							

< 特定診療科: 小児科、産婦人科 >

専門医取得

卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
義務年数	義務年限外		1	2	3	4	5	6	7	8	
雇用病院の負担(375万円/人・年)	不要				必要						
	臨床研修	専門研修期間				通常義務履行・地域貢献期間					

宮城A方式の推奨診療科

- 内科、総合診療、外科、整形外科、救急科
- 推奨特定診療科以外でも調整がつけば専門医取得は可能

東北を学ぶ I 【基礎教養】 1年次前期 必修

ねらい

- ① 東北各県の医療の現状と課題を理解することです。
- ② 東北の地域の様々な問題を知り、別地域の事例等との比較に基づいて、理解を深める。
- ③ 東北の地域の課題についてweb 上での情報を調査した上でまとめて発表する等の基本的なスタディ・スキルを習得する。

授業計画・内容

- | | |
|------|------------------------------------|
| 第1回 | 「東北の地域の問題を知り、考える」の説明と、前年度の最終成果の紹介等 |
| 第2回 | Web 上での調査について 情報の調べ方、ならびに中間発表の説明 |
| 第3回 | 東北6県紹介① 東北の2県の講義※ |
| 第4回 | 東北6県紹介② 東北の2県の講義※ |
| 第5回 | 中間発表の準備 |
| 第6回 | 東北6県紹介③ 東北の2県の講義※ |
| 第7回 | 中間発表① Wordを使った発表(5分)と質疑応答 |
| 全15回 | ・ |

※ 各県の健康福祉部長宛に「県の特色」および「各県の医療に関する現状と課題、対策等」を中心に講義を依頼(30分)

東北を学ぶⅡ【基礎教養】 1年次後期 必修

授業計画・内容

- 第1回 はじめに、社会学と民俗学 本講義の概要、社会学と民俗学、社会学と民俗学における**東北地方研究**
- 第2回 地域の文化を捉える視点(1) 社会的・歴史的背景をもつ患者と家族
- 第3回 地域の文化を捉える視点(2) イエとムラ
- 第4回 地域の文化を捉える視点(3) ムラの構造と変動、近世以降の地域の変化
- 第5回 日本における文化の多様性と東北(1) 日本における東と西
- 第6回 日本における文化の多様性と東北(2) 文化の多様性と社会的基盤、**近代以前の東北**
- 第7回 日本における文化の多様性と東北(3) 地域のなかの文化の多様性、**東北の風土と生活**
- 第8回 伝統的な社会における個と共同体 個人のシンボル・拒絶の主体
- 第9回 伝統的な共同体における生活と思考(1) 共同体的平衡感覚
- 第10回 伝統的な共同体における生活と思考(2) 間道の実態・道路の二重構造
- 第11回 伝統的な生活文化をめぐる連続と断絶(1) 馬の背と牛の背・土着者の姿勢
- 第12回 伝統的な生活文化をめぐる連続と断絶(2) 自然に生きる
- 第13回 伝統的な地域における宗教文化(1) 民俗学における宗教研究と柳田國男と折口信夫
- 第14回 伝統的な地域における宗教文化(2) マレビト信仰の根底・**東北地方の民俗とマレビト**
- 第15回 伝統的な地域における宗教文化(3) **東北地方の年中行事と祭り**

地域医療ネットワーク病院(教育協力病院)

関連教育病院

- ① 東北労災病院
- ② 仙台医療センター

地域医療教育サテライトセンター

- ③ 登米地域医療教育サテライトセンター
- ④ 石巻地域医療教育サテライトセンター

地域医療ネットワーク病院

宮城県

- ⑤ 気仙沼市立病院
- ⑥ 登米市立登米市民病院
- ⑦ 大崎市民病院
- ⑧ 石巻市立病院
- ⑨ 公立刈田総合病院
- ⑩ 栗原市立栗原中央病院
- ⑪ 南三陸病院
- ⑫ 石巻赤十字病院
- ⑬ みやぎ県南中核病院
- ⑭ 宮城病院

青森県

- ⑮ 青森県立中央病院
- ⑯ 八戸市立市民病院

岩手県

- ⑰ 岩手県立中央病院
- ⑱ 岩手県立大船渡病院

秋田県

- ⑲ 平鹿総合病院
- ⑳ 大曲厚生医療センター

山形県

- ㉑ 山形市立病院 済生館
- ㉒ 公立置賜総合病院

福島県

- ㉓ 白河厚生総合病院
- ㉔ いわき市医療センター



今年度より追加

- ・涌谷町国民健康保険病院(宮城県)
- ・岩手県立胆沢病院(岩手県)
- ・鶴岡市立荘内病院(山形県)



東北医科薬科大学
若林病院



東北医科薬科大学
大学病院

地域医療ネットワーク病院での地域医療教育

同じ地域を、同じ仲間と、繰り返し訪問

科目名	開講年次	内容	施設数	日程	回数など	学生
地域病院 体験学習	2年次前期	病院中心の見学	19	1泊2日	4～7名/班 ×1回	4～7人/班 修学資金枠 + 一般枠
地域介護サービス 体験学習	2年次後期	介護・福祉の見学	48	1泊2日	4～7名/班 ×1回	
地域診療所 体験学習	3年次前期	診療所(在宅医療)の見学	49	1泊2日	4～7名/班 ×1回	
地域包括医療実習	6年次前期	病院、診療所での 臨床実習	19	6週間	4～7名/班 ×1回	

(体験学習、実習にかかる交通費、宿泊費などはすべて本学が負担)

暮らしの現場で学ぶ地域医療教育

★体験学習アンケート抜粋(2021年度実施)
(一期生・二期生の集計)

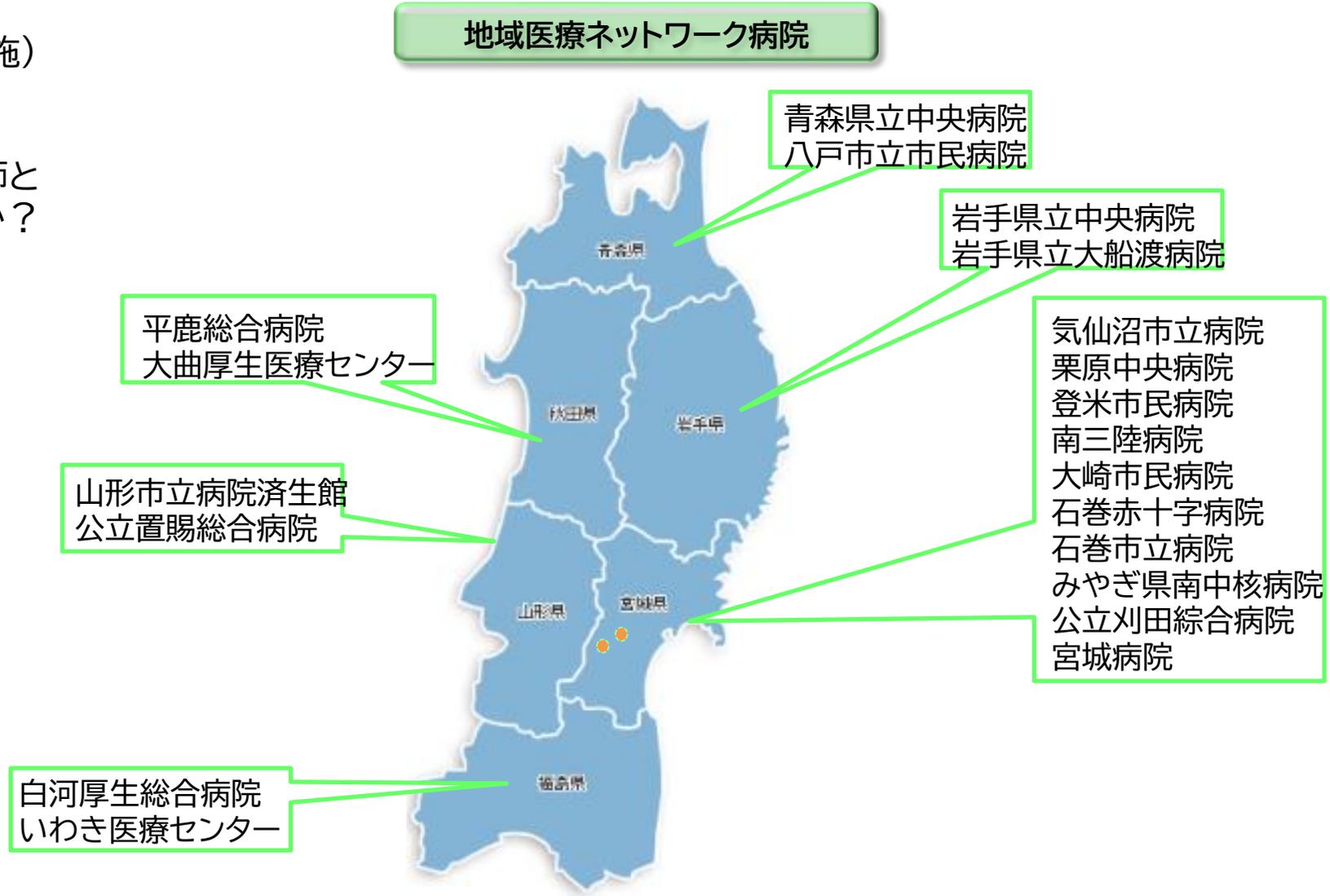
Q.体験学習を経験して、地域において医師として勤務する意欲又は関心が湧きましたか？

- ・強くそう思う・・・17%
- ・そう思う・・・43%
- ・どちらともいえない・28%
- ・あまり思わない・・・5%
- ・まったく思わない・・・2%
- ・無回答・・・5%

★ネットワーク病院の先生方へのアンケート抜粋(2021年度実施)

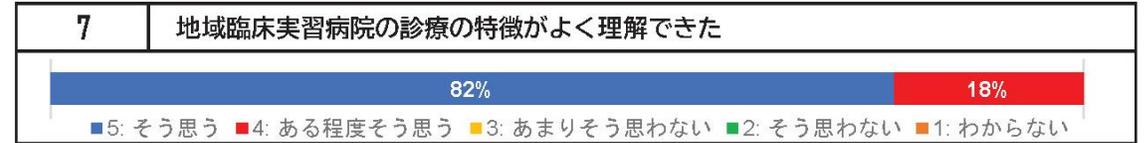
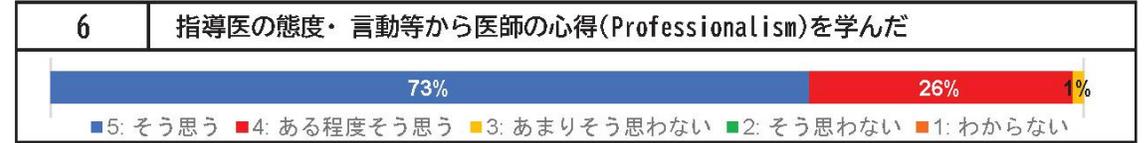
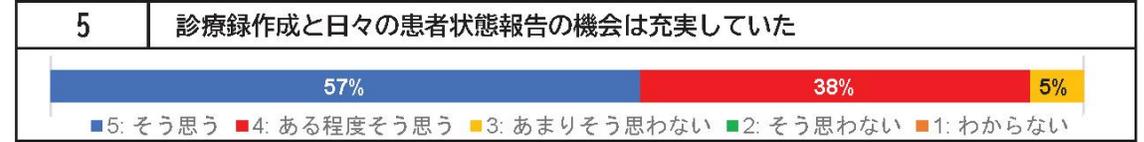
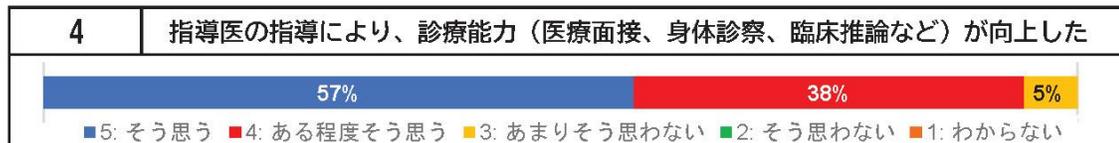
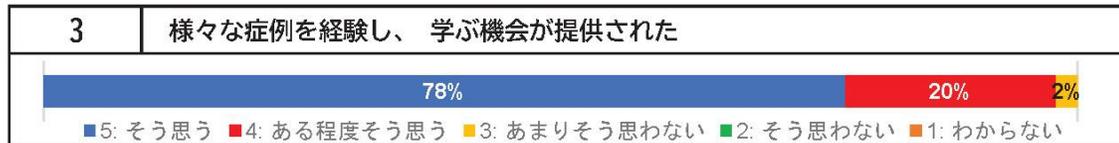
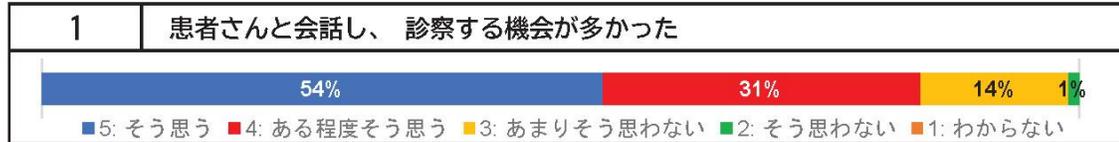
Q.本プログラムをご評価いただけますか？

- ・大いに評価する・・・31%
- ・評価する・・・56%
- ・どちらともいえない・11%
- ・あまり評価しない・・・2%



2023年度 地域総合診療実習・地域包括医療実習 学生による科目の評価

回答：6年次学生(3期生)



コメント

住み込みで実習をするとのことで、少しめんどくさいなと感じていたが、実際に行ってみるととても楽しかった。その地域の魅力をたくさん知ることができ、将来この地域で働きたい気持ちが大きくなった。大学では見ることができない疾患(外傷など)もあり、そのような面でも勉強になった

卒業生の臨床研修病院の赴任(マッチング)状況

【2021年度(1期生)】

入学枠	総数	東北以外	東北	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
一般	39	24 (62%)	15 (38%)	1	0	2	9	1	2
宮城A	28	6 (21%)	22 (79%)	0	2	1	17	2	0
5県A	5	0 (0%)	5 (100%)	0	0	2	0	1	2
5県B	17	2 (12%)	15 (88%)	1	2	3	1	6	2
合計	89	32 (36%)	57 (64%)	2	4	8	27	10	6

※卒試・国試不合格者は除く。

【2022年度(2期生)】

入学枠	総数	東北以外	東北	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
一般	41	16 (39%)	25 (61%)	0	2	1	16	5	1
宮城A	28	9 (32%)	19 (68%)	0	0	0	17	2	0
5県A	5	1 (20%)	4 (80%)	1	0	1	1	1	0
5県B	17	4 (24%)	13 (76%)	0	4	4	1	3	1
合計	91	30 (33%)	61 (67%)	1	6	6	35	11	2

※卒試・国試不合格者は除く。

【2023年度(3期生)】

入学枠	総数	東北以外	東北	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
一般	42	19 (45%)	23 (55%)	0	3	0	16	0	4
宮城A	28	7 (25%)	21 (75%)	0	0	0	18	2	1
5県A	5	0 (0%)	5 (100%)	0	1	0	1	1	2
5県B	21	0 (0%)	21 (100%)	0	3	5	3	8	2
合計	96	26 (27%)	70 (73%)	0	7	5	38	11	9

※卒試・国試不合格者は除く。

ご清聴ありがとうございました